

さいたま市インフルエンザ週報(速報)

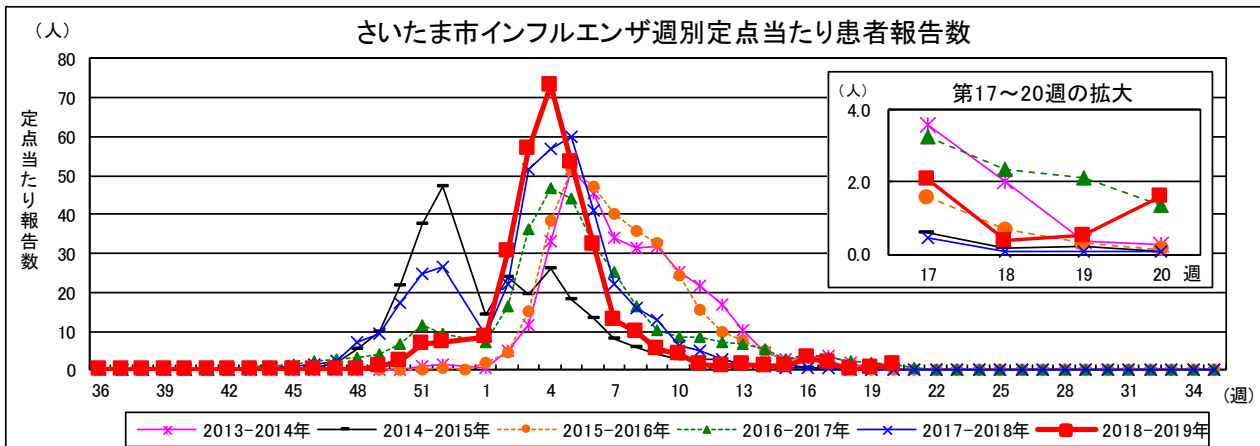
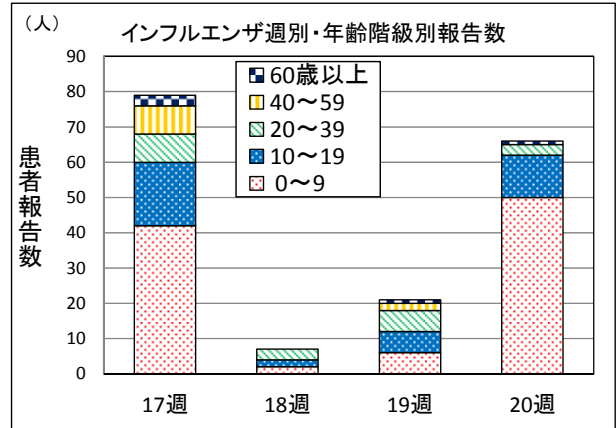
2018-2019 年シーズン 第 20 週(5 月 13 日～5 月 19 日)

1 市内のインフルエンザ患者報告状況

定点医療機関(小児科 27ヶ所、内科 14ヶ所)からの患者報告数は 66 人、定点当たり報告数は先週の 0.51 人から 1.61 人と増加しました。流行の目安となる「定点当たり 1 人」を超えており、引き続き注意が必要です。

埼玉県内の定点当たり報告数は 0.93 人です。

予防及び感染拡大防止のため、手洗い、咳エチケットを励行しましょう。



2 インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等

第 20 週は、学級閉鎖 3 学級(大宮区 1 校、浦和区 1 校)の報告がありました。

3 市内病原体定点等からのインフルエンザ検体ウイルス検出状況

インフルエンザ検体のウイルス検出状況(2019年第20週)

検体採取週	検体数 (患者数)	陽性数 (患者数)	インフルエンザウイルス			
			AH1 pdm09	A香港	B山形 系統	Bビクトリ ア系統
18年第36週 ～19年第16週	75	72	19	50	0	3
第17週	2	2	0	1	0	1
第18週	0	0	0	0	0	0
第19週	0	0	0	0	0	0
第20週	1	1	0	0	0	1
合計	78	75	19	51	0	5

※病原体定点の先生方には、引き続き検体採取のご協力をお願いします。

市内で直近の 4 週間(第 17 週～第 20 週)に採取された 3 検体から、A 香港型が 1 件、B 型ビクトリア系統が 2 件検出(PCR)されました。

国立感染症研究所ウイルス分離・検出速報(5 月 21 日作成版)によれば、第 16 週～第 19 週に全国で検出されたインフルエンザウイルスは、B 型が 29 件(48.3%)、A 香港型が 27 件(45.0%)、AH1pdm09 が 4 件(6.7%)でした。B 型の検出割合が増加しています。

★「さいたま市インフルエンザ週報」は、原則として患者報告が定点当たり 1 人を超えた際に作成しています。

★令和元年 5 月 21 日 13 時現在の速報です。後日データの修正をすることがあります。